

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
牧田 俊之・首藤 孝治

首藤 孝治 議員



第11回定例議会、一般質問では、重度心身障がい児者・医療的ケア児者の早期ショートステイ設置に向け議論し、問題である看護師不足の改善策として、市内在住者を対象に看護師・介護士などの免許取得者で職に就いていない方々を募り、就労へ繋げる事業を提案し、理事者から調査研究していくと答弁がありました。白鳥王子アイスアリーナトレーニング室の狭あい問題については、国のナショナルトレーニングセンターに指定されている事から国際基準に順当したトレーニング別室の設置やアスリートに適したトレーニング器具の配備を求めました。不育症に悩む人を支援するため道が4月に始めた検査や治療費を助成する不育症治療費助成事業に合わせて、市も独自助成するよう求め、検査や治療費が道の助成金の上限を超えた場合、市が上乗せして助成することを検討すると答弁がありました。

牧田 俊之 議員



家庭ごみの戸別収集について平成28年末に実施したアンケート、事業効果、スケジュールについて質問しました。約7割の方が肯定的、分別意識の向上によりごみ量の減量化に寄与、ただし収集業者の作業量の増加という課題に対しては、今後の拡大に向けて総合的に検討・判断したいと答弁がありました。沼ノ端クリンセンター一炉体制となった場合の環境変化について糸井清掃センターの搬入実績から一日平均40台/程度の車両が増加する事がわかり、周辺地域への丁寧な対応をお願いするとともに、周辺自治体や市内民間事業者との連携の提案をしました。水素エネルギー社会構築可能性調査については5つの可能性が示され「苦小牧水素エネルギープロジェクト会議」での具体的な検討を進めると答弁があり、私からは国や北海道との連携について確認し取り組みの前進をお願いしました。

越川 慶一 議員



【市民ホール】建設計画が示されている市民ホールについて、今後の進め方や市民意見の反映方法、科学センターを統合しないことによる影響などを確認するとともに、4つの建設候補地における規模や機能、建設費や管理費など比較検討できる資料が不足していることを指摘したうえで、市が建設候補地として考えている東小学校跡地で、基本コンセプトに示された「市民の誰もが足を運びたくなるような施設」になり得るのか、建設場所の重要性について議論しました。

【科学センター】今後のあり方検討や老朽化、耐震化の対策が必要であることを指摘し早急に検討するよう求めました。

【防災】災害時備蓄計画について充足率が未達成の品目について、できる限り早期の整備を求めるとともに、防災行政無線の海岸沿いへの設置に対しても、整備計画の策定及び総合計画への反映を求めました。

松井 雅宏 議員



第11回定例議会に初めて副議長として臨ませていただきました。副議長として議会運営委員会、代表者会議、議会改革検討会に参画。さらに3日目の本会議一般質問では、議長に代わり議事を進行するなどの経験を積ませていただきました。

文教経済委員会において、道央地域(苫小牧市、千歳市、恵庭市、安平町)の高度技術による産業開発を目的として設立された公益財団法人道央産業振興財団の事業評価を質した上で、今後の基金造成を含めた事業費確保に向け関係機関と協議することを求めました。

また、30年度に策定を目指し検討が進められている「(仮)苫小牧中小企業振興計画」について取り上げ、小規模事業者に特化した条文の必要性。策定過程における市民、議会の意見聴取のあり方とその結果の公表、さらには各種施策や事業が複数の部にまたがることから庁内連携の強化を求めました。